

株式会社東京歯車工業

企業概要			
設立	1948年創業 1959年設立	資本金	1000万円
所在地	豊島区池袋本町	業種	製造業
代表	代表取締役 渡辺 隆三 氏		
従業員数	11人（うち女性1人）		
事業内容	各種歯車製造及び金属部品の製造販売、タイミングプーリー製造販売		



<ポイント>

○会社の取組

- ・技術職の女性が活躍
- ・男女の区別なく採用し、未経験者からも技術者を育成
- ・月1回外部講師を招いた勉強会を実施しており、女性の採用によりさらに活発化

○女性従業員からのメッセージ

- ・本人がやりたいと思うことが何よりも大切で、手先が器用で地道にコツコツとやる作業が好きな人におすすめ

企業の取組

代表取締役 渡辺 隆三 氏



技能系女性従業員の採用

2015年3月末に女性を1名採用しました。2016年度には若干名を採用予定ですが、男女にこだわらず、中途採用で考えています。当社では、技術系の学校出身者や経験者でなくても採用しています。未経験であっても、ある程度手先が器用であれば教えることが可能です。現在の社員の中でも3名は入社後に教育し、技術を習得しました。

採用は主にハローワーク経由です。3月に採用した技術女性は、展示会の当社のブースを訪ねて来た際に話をし、技術の現場で働きたいとのことだったため、後日面接をして採用しました。

採用に当たっての着眼点は、男女問わず、性格と器用さです。初めの3カ月の試用期間でそこを見ています。また、試用期間中の社員にとっても、当社が合うか否かを検討してもらう期間でもあります。この期間の効果もあり、離職者は少ないです。

10年程前に人材を募集した際にも、当社を見学した女性が数名いましたが、皆現場を見るとイメージが違ったのか躊躇していました。やはり男性社会に見えてしまったのだと思います。当社は、特に女性採用のための工夫をしている

わけではないですが、3月に女性技術者が入社してからは、現場のトイレを男女両方使えるように直す等の対応をしました。

技能系女性従業員の活躍推進、育成

現在女性技術者が担当しているのは、穴あけタップ加工です。女性は初めてのため、どの作業をさせたら良いのか現場は戸惑ったようです。作業中に破片やゴミが飛ぶことから、女性に教えるのは躊躇していました。また、ドリルが回っているため、器用さがなければいつ怪我をしてもおかしくありませんが、本人にやる気があるため担当してもらっています。

女性従業員に向いている職種、向いていない職種については、どれも男女ではなくて、個人差だけだと思います。重量物に対しては腕力が必要ですが、どの仕事もやる気があれば出来るものばかりです。また、当社は小さいものが多いため、どの工程でもそれほど重量物はありません。従来からパート社員には検査作業をやらせており、細かい作業は女性が向いていると思います。

・女性従業員の教育

メイン指導者は工場長にお願いしています。最初は軽作業や細かいところを見て覚えてもらい、その後少しずつOJTでやってもらいました。触ったことのない機械については、その作業者が直接指導しています。

女性技術者のプログラム等はなく、男女とも3カ月の試用期間の中で教育しながら、適性も見るとかたちです。メンター制度等はなく、何かあれば相談相手を自分で見つけているようです。

・女性従業員の昇進、キャリアプラン

本人も希望しているようなので、プログラミングも含めて NC を将来やらしてもらおうかと考えています。技術を習得せずに、NC の操作を担当させるのではなく、機械を身体で覚えてもらいたいと考えています。そのため、手が空いた時には適宜機械操作等を教えるようにしています。

・女性従業員の活躍推進で苦勞している点、問題点

女性のパート社員は随分前から現場にいますが、正社員とパートでは役割が違います。以前から女性の採用を望みながら、うまくいかなかったため、今は女性社員をいかに現場に溶け込ませるかが課題です。実際、その点は本人が一番苦勞していると思います。

技能系女性従業員の定着に関する取組

トイレ以外は特に何もしていません。自然となじんでもらっています。女性だから特別ということはありません。また、男性社員にも女性の技術者と仕事をすることに慣れてもらうしかならないと思っています。

仕事と家庭の両立支援策については、事務職の女性は結婚して子どもがいますが、学校行事などの際は有休を使っています。男性でも子どもがいる社員は 1 人しかおらず、特別な休暇は設けていません。勤務時間は 8 時半～17 時半、基本的に定時内で終わることが多く、残業しても週に 1～2 日、2 時間程度です。また、当社は変則週休 2 日で、土曜出勤も月 1 回程度あります。社員の親の介護問題も生じつつあるため、今後は半日単位の有休で対応していく等、働き方も含めて検討する必要があります。また、女性に配慮した相談窓口等はないため、基本は現場で解決し、何かあれば私に相談してもらうようにしています。

女性活躍推進の成果

女性が入ることで、現場がとても明るくなりました。また、月 1 回品質会議と外部講師を招いた勉強会を同時開催で行っていますが、女性がいるとやはり雰囲気は違います。

自社の優れた取組

・ちょっとした取組、魅力や工夫

女性の活躍推進に関することではありませんが、お客様からいただいた図面に対して、素材から完成品までの試作が可能なおことです。コストと納期面でも他社と差別化しています。また、工場の外側の窓は防音のため、外に音が漏れることもありません。

業界への就職を検討している女性へのメッセージ

どんな職業でもそうですが、まずはやってみるおことです。やってみなければわかりません。採用する側だけでなく、採用される側の自由もあるため、まずは 3 カ月の期間を利用して挑戦してもらうおことが重要おです。



従業員の声

入社1年目 Bさん

担当している業務：ボール盤による穴あけ、
タップ加工

入社したきっかけ

昔から図工や美術の時間が好きだったので、ものづくりが学べる高校へ入学しました。その授業の中で映像制作に興味を持ち、制作会社へ就職しましたが、実際に手や指先を動かして何かを作り上げるという、ものづくりの楽しさを忘れられずにいました。そんな中、2014年の信用金庫のイベントでいろいろな企業を見て回っていたところ、高校で積極的に学んでいた、金属加工をしている弊社に目が留まり、社長から話を聞いて後日面接をし、2015年3月に入社しました。

また、職業能力開発センターについては、ハローワーク経由で知りました。高校卒業後、ものづくりのブランクが10年程あり、不安があったため江戸川校での体験塾に参加しました。

現在の仕事内容

現在は、ボール盤という機械を使い、ドリルで金属に穴をあけ、タップ加工（ねじ切り）をしたり、その後の仕上げ作業などを担当しています。仕事を覚える段階では、段々と上手くなるので、それがとにかく楽しかったです。また、加工する数が多いため、いかにスピーディーに効率よく作業するかを考えて仕事をしています。これまでやっていた他の仕事に比べて、指先を使って感覚を研ぎ澄まし、ものを作り上げる仕事はとても夢中になれるし、やりがいを感じます。

一方で、同じ商品を大量に作る業務は変化がなく、集中力を切らさないようにしなくてはいけないので、その点はいつも難しく感じます。スピードを考えながらも、ひとつひとつを同じ寸法で、正確に加工するのも大変なところ です。

力がある作業もありますが、今は工場長にお願いしています。また、触ったことのない機械については、今は時間のある時にその機械の作業担当者に教えてもらっています。



働く環境

これまで技術系の女性社員がいなかったためか、みなさん社員の方はとても親切にしてくれています。入社して分かったのですが、男性が多いと、お互いあまり干渉したりしないようなので、そこが私には合っていたようです。ただ、仕事の面だと、製品の受け渡しや、後工程の連絡などが大雑把な時もあり、そこで困ったこともありました。

また、冬の時期、自分の作業場所が寒いと話したところ、すぐに工場長がストーブを用意してくれたので、とても有難かったです。

女性に配慮した相談窓口はないのですが、事務の女性には働くうえでのアドバイスも含め、相談に乗ってもらっています。

今後あったらよい支援策について、産休や育休の利用者がまだいないため、今後取得できたら良いです。

教育・研修と今後取り組みたいこと

入社後、いろいろな方の作業について、仕事を通してOJTで学びました。加えて勉強会を受講しています。

今後は NC 旋盤などの指導を受ける可能性があります。ありますが、それに限らず、いろいろな機械を扱ってみたいです。また、社内にほとんどの機械を操作できる方がいて、とても尊敬しているので、ひそかに目標にしています。日頃の作業はもちろん、難しい作業だったり、工夫が必要だったり、何か困ったことがあったりしても、その方のようにすぐに解決できるような、会社で一目置かれる、信頼される人になりたいと思っています。

行って欲しい人材育成・能力開発については、伝統工芸品を作っている工房の見学や体験などです。ものをつくるという点では通ずるところもあるし、普段触れる機会がないからこそ、そこから学んだり、手先の感覚を養ったりしてみたいです。

女性の強み・弱み

強みは、男性とは違った視点で物事を見ることができるところです。現在行われている品質会議や勉強会などで、提案や発言をしたりしています。逆に弱みは、男性よりも力が劣るところですが、仕事をしているうちにだんだんと腕力がついてきているようです。

これまでの成功・失敗体験

入社したころは、決められた寸法からずれて穴をあけてしまうようなことがよくありました。しかし、やっているうちに、何回も調整しなくても、一回で寸法が決まるようになり、その時はとてもうれしいし、自信にもつながりました。

一方失敗体験は、作業に慣れてきた時の油断で注意力が足りず、不良品を出してしまったことです。

女性従業員が働く上での課題や苦勞

男性が多い職場のため、大雑把で気にしないところがあるようです。私は、技術よりも環境

面で女性と男性の違いを感じます。社員旅行だと、女性一人では参加しづらかったり、男女共用トイレでは、清潔面が少し気になったりします。

また、私が入社してからは、社内の会話が以前より増えたようです。みなさんととてもよくしてくれますが、なんといっても女性は私一人なので、孤独を感じたこともあります。

今後の女性活躍

・今後この会社で女性が活躍していくために必要なこと

福利厚生面の充実が必要だと思います。制度面等を整えるなど、女性のモチベーションが上がるような対策をとる必要があると思います。

・今後社会で女性が活躍していくために必要なこと

フランスは子育て支援がしっかりしていて、女性が安心して働くことができるようです。日本もフランスのようになると良いと思います。

会社・業界の良いところ・魅力

ものづくり全般を好きな人がやってみるといいと思います。圧倒的に男性が多い業界なので、この仕事をしたいと、本人が強く思うことが大切かと思います。私は高校在学中、伝統工芸の技能は少し不得意でしたが、機械加工は得意でした。自分がどんなものづくりに向いているかも重要ですが、手先が器用でつくることが好きであればやっているとと思います。

